

改正指針対応「研究概要の公開文書」改訂フォーム

单施設研究用

※黒字 定型事項 消さないで下さい。

以下、本文-----

小児・思春期・若年成人（AYA）世代がん治療後の長期心毒性の発生率と予測因子の検討

1. 研究の対象

1980年4月～2025年3月までに、40歳未満でがんと診断され、血液内科で治療を受けた方（白血病、骨髓異形成症候群、リンパ腫、骨肉腫、ユーイング肉腫など）。

2. 研究目的・方法

研究概要：

小児・AYA(Adolescent and Young Adult)世代に対する抗がん剤治療は、晚期合併症として心毒性を引き起こすことがあり、とくに中年期以降に発症することが報告されている。しかし、多くは無症候性で、長期の定期的な心機能評価は困難で、晚期心毒性の実態把握は難しい。

目的：小児・AYA世代の血液腫瘍患者で、化学療法と放射線治療、造血幹細胞移植(HSCT)後の晚期心毒性の発生頻度を明らかにし長期心機能モニタリングの必要性を検討する。

方法：電子カルテより、年齢、性別、抗がん剤、放射線照射、HSCTの有無などを収集し、心エコー図、心電図、血中バイオマーカーなどは、直近の検査値を用いて評価する。

研究実施期間：3年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：電子カルテより、年齢、性別、抗がん剤、放射線照射、HSCTの有無などを収集し、心エコー図、心電図、血中バイオマーカーなどの直近の検査値を用いる。

4. 試料・情報の公開

研究結果は、学会・新聞・論文として報告します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

埼玉県立がんセンター 臨床検査科 川村眞智子

〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室 780

電話番号 048-722-1111／FAX 番号 048-722-1129

-----以上